



HP リニア バーコード スキャナー II

ユーザーガイド

© Copyright 2016, 2018 HP Development
Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 1 版 : 2018 年 6 月

初版 : 2016 年 12 月

製品番号 : 915238-292

このガイドについて

このガイドでは、HP リニアバーコード スキャナー II のセットアップおよび使用方法について説明します。

-
-  **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 -  **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
 -  **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（モニターの損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
 -  **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
 -  **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
-

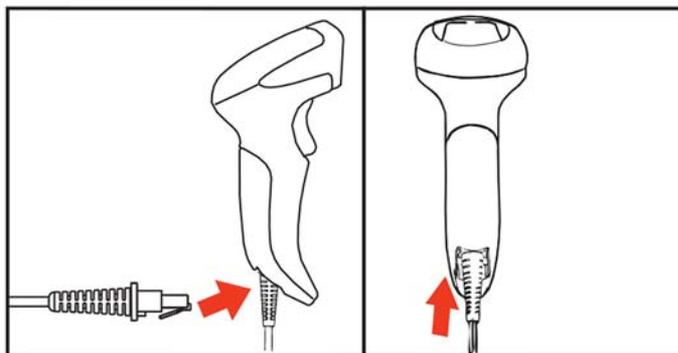
目次

1 スキャナーのセットアップ	1
ケーブルの接続	1
2 スキャナーの使用	2
バーコードの読み取り	2
3 安全および保守に関するガイドライン	3
人間工学上の推奨事項	3
清掃	4
4 スキャナーのプログラミング	5
プログラミングバーコードの使用	5
その他の設定	5
初期設定へのリセット	5
5 インターフェイスの種類を選択	6
インターフェイスの設定	6
キーボードインターフェイス	7
スキャンコード表	7
国モード	8
Caps Lock の状態	11
6 パラメーターの読み取り	12
読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間	12
7 スキャンモード	13
付録 A 技術仕様	15
付録 B LED およびビープ音によるインジケター	17
エラーコード	18
付録 C テクニカルサポート	19
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	19

1 スキャナーのセットアップ

ケーブルの接続

1. スキャナーの底面にインターフェイスケーブルを接続します。

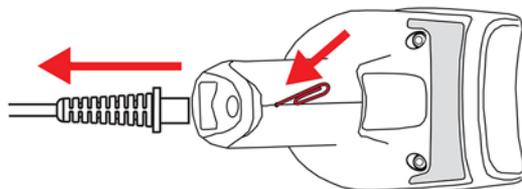


2. インターフェイスケーブルのもう一方の端をホストデバイスの USB ポートに差し込みます。

USB



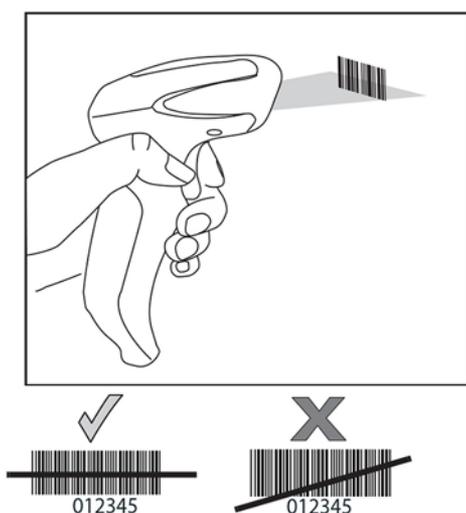
スキャナーからケーブルを取り外すには、以下に示すように、スキャナーの前面にある穴にゼムクリップを差し込み、ケーブルをスキャナーから取り外します。



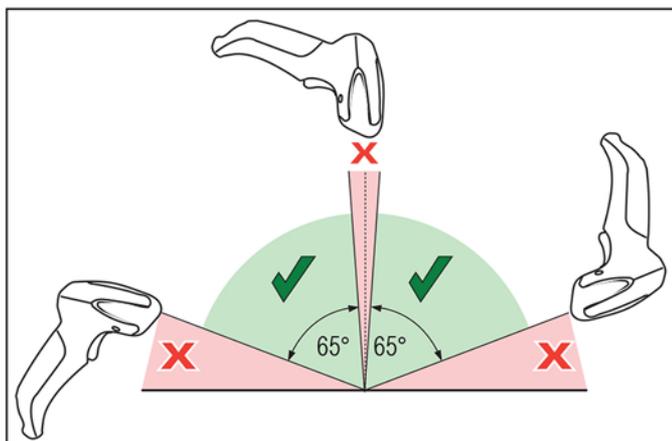
2 スキャナーの使用

バーコードの読み取り

スキャナーを対象に向け、トリガーを引いて照射（赤色 LED 光）を有効にすると、バーコードラベルがデコードされます。照射自体は、トリガーが解放されるか、ラベルが読み取られるか、または「最大スキャン時間」に達するまでオンのまま保たれます。バーコードラベルのスキャン時は、ラベルまでの距離や角度を調整することで読み取りやすくなります。赤色 LED 光がバーコードのすべてのバーおよびスペースに当たるようにしてください。



スキャナーをバーコードの真上にかざさないでください。赤色 LED 光がバーコードからスキャナーに直接反射する、鏡面反射という現象が起こります。鏡面反射は読み取りを妨げるおそれがあります。スキャナーを前後に最大 65° まで傾けることで、正しく読み取れるようになります。



3 安全および保守に関するガイドライン

人間工学上の推奨事項

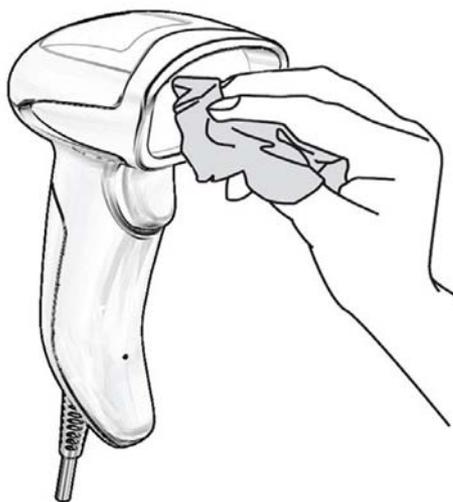
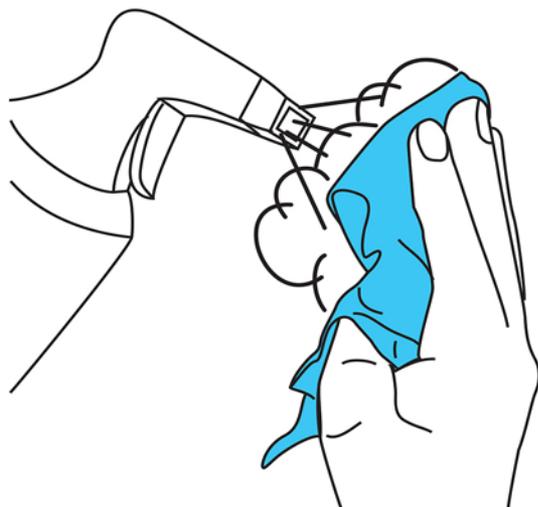
⚠ **警告！** 不適切な体勢で操作することによるけがの発生を防止または最小限にするため、以下の点に注意してください。職場等、作業環境を管理する安全衛生管理担当者に相談の上、適切な安全基準やプログラムに従って従業員のけがを未然に防止してください。

- 反復的な動作を減らすまたはなくす
- 自然な位置を維持する
- 無理な力を減らすまたはなくす
- 頻繁に使用されるものを、手が届きやすい定位置に置く
- 作業を適切な高さで行う
- 振動を減らすまたはなくす
- 直接的な圧力を減らすまたはなくす
- 調整可能な作業場所を用意する
- 十分な空間を確保する
- 適切な作業環境を提供する
- 作業手順を改善する

清掃

表面やスキャンウィンドウは、液体がかかったり、汚れやほこりが付いたりする場合がありますため、定期的に清掃して、スキャン中に最適な読み取り結果が得られるようにする必要があります。

柔らかく、清潔な、乾いた布を使用して製品を拭きます。製品の汚れがひどい場合は、薄めた低刺激の洗浄液または薄めたエチルアルコールで湿らせた柔らかい布で製品を拭きます。



重要：研磨剤が入った洗浄液、刺激の強い洗浄液、または研磨パッドを使用して、スキャンウィンドウまたはプラスチックの部分を拭かないでください。

液体を直接製品に吹きつけたり、かけたりしないでください。

4 スキャナーのプログラミング

スキャナーには、標準的な初期設定による機能が工場出荷時に設定されています。インターフェイスの選択時にインターフェイスのバーコードをスキャンしたら、その他のオプションを選択し、『HP Retail Linear Barcode Scanner Programming Reference Guide』（HP リテール リニアバーコードスキャナー プログラミング リファレンス ガイド）から入手可能なプログラミングバーコードを使用してスキャナーをカスタマイズします。お使いのインターフェイスに対応する機能のセクションを確認し、プログラミングリファレンスガイドの「Data Editing」（データ編集）および「Symbologies」（読み取りコード）の章を参照してください。

プログラミングバーコードの使用

このガイドには、スキャナーの再設定を可能にするバーコードが記載されています。プログラミングバーコードラベルの一部には、[初期設定へのリセット]バーコードのように、1つのラベルをスキャンするのみで変更が完了するものがあります。

また、その他のバーコードには、スキャンする前にスキャナーをプログラミングモードにする必要が生じるものもあります。プログラミングモードを開始するには、[プログラミングモードの開始/終了]バーコードを1回スキャンします。目的のパラメーター設定をスキャンしてから、[プログラミングモードの開始/終了]バーコードをもう一度スキャンすると、変更が確定されます。プログラミングモードが終了し、スキャナーは通常の動作に戻ります。

その他の設定

追加のプログラミングバーコードをプログラミングリファレンスガイドから入手して、プログラミング機能をカスタマイズできます。お使いのインストールに、標準的な工場出荷時の初期設定とは異なるプログラミングが必要な場合は、プログラミングリファレンスガイドを参照してください。

初期設定へのリセット

スキャナーにどのようなプログラミングオプションがあるかわからない場合や、一部のオプションの変更後にカスタム工場出荷時設定に戻りたい場合は、以下のバーコードをスキャンして、スキャナーを初期設定にリセットします。他のオプションおよび標準の工場出荷時設定の一覧については、プログラミングリファレンスガイドを参照してください。

 **注記：**工場出荷時の初期設定は、インターフェイスの種類に基づいて行われています。このラベルをスキャンする前に、必ずスキャナーを正しいインターフェイス用に設定してください。詳しくは、[6ページの「インターフェイスの種類を選択」](#)を参照してください。



初期設定へのリセット

5 インターフェイスの種類を選択

スキャナーおよびホスト間の物理的な接続が完了したら、適切なバーコードをスキャンすることで、システムに合ったインターフェイスの種類を選択します。この章には、インターフェイスの種類別の情報およびプログラミング オプションが記載されています。初期設定およびその他の情報については、プログラミング リファレンスガイドを参照してください。

インターフェイスの設定

適切なプログラミング バーコードをスキャンして、お使いのシステムに合ったインターフェイスの種類を選択します。

 **注記：**他のプログラミング機能およびオプションとは異なり、インターフェイスの選択では1つのプログラミング バーコードラベルのみをスキャンする必要があります。インターフェイス選択のバーコードをスキャンする前に、[プログラミング モードの開始/終了]バーコードをスキャンしないでください。

一部のインターフェイスでは、電源投入時にスキャナーが無効になった状態で起動する必要があります。スキャナーが無効になった状態でさらにスキャナーを設定する必要が生じた場合は、トリガーを5秒程度引いたままにします。バーコードを使用したプログラミングが可能になると、スキャナーの状態が変更されます。

USB-COM

RS-232 標準インターフェイスをシミュレートするための
USB-COM



USB-COM-STD の選択

<https://support.hp.com/jp-ja/> から適切な USB-COM ドライバーをダウンロードしてください。

キーボードインターフェイス

USB キーボードのオプションを選択するには、以下のプログラミングバーコードを使用します。

キーボード

USB 標準キーボード (ALT モード)



USB 標準キーボード (ALT モード) の選択

USB 標準キーボード



USB 標準キーボードの選択

スキャンコード表

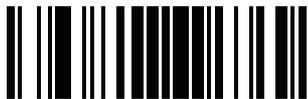
キーボードインターフェイスの制御文字エミュレーションについては、リファレンスガイドを参照してください。

国モード

この機能は、キーボード言語を指定します。USB 標準キーボード（ALT モードなし）のみがすべての国モードに対応しています。

他のすべてのインターフェイスは、米国、ベルギー、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、およびスウェーデンの国モードにのみ対応しています。

国モード



プログラミングモードの開始/終了



国モード = 米国



国モード = ベルギー



国モード = 英国



国モード = クロアチア*



国モード = チェコ共和国*



国モード = デンマーク*

国モード



国モード=フランス



国モード=フランス語圏カナダ



国モード=ドイツ



国モード=ハンガリー



国モード=イタリア



国モード=日本語 106 キー*



国モード=リトアニア



国モード=ノルウェー*

国モード



国モード = ポーランド*



国モード = ポルトガル*



国モード = ルーマニア*



国モード = スロバキア*



国モード = スペイン



国モード = スウェーデン



国モード = スイス*

*国モード機能の説明に記載されているインターフェイスにのみ対応しています。

Caps Lock の状態

このオプションは、リーダーから送信する文字データの形式を指定します。USB キーボードインターフェイスで使用されます。

00 = Caps Lock オフ。通常の形式で文字データを送信します。

01 = Caps Lock オン。大文字小文字を反対にして文字データを送信します。

02 = 自動 Caps Lock。

Caps Lock の状態



プログラミング モードの開始/終了



Caps Lock の状態 = Caps Lock オフ



Caps Lock の状態 = Caps Lock オン



Caps Lock の状態 = 自動 Caps Lock 有効

6 パラメーターの読み取り

スキャナーを対象に向かって動かし、照準パターンおよび照射システムを中央に照射してイメージをキャプチャし、デコードします。詳しくは、[2ページの「スキャナーの使用」](#)を参照してください。

照準システムは、読み取りが行われると少しの間オフになり、そのままコードが読み取れないと再びオンになります。そして次の読み取りが行われるまでオンのまま保たれます。

コード記号がうまく読み取れない場合は、スキャナーとコードの間の距離を調整します。

読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間

読み取りの成功は、読み取り完了を示す緑色スポットによって表されます。以下のバーコードを使用して、読み取りの成功後に読み取り完了を示すポインター光線が点灯する時間を指定します。

読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間



プログラミングモードの開始/終了



緑色スポットの持続時間 = 無効 (緑色スポットがオフ)



緑色スポットの持続時間 = 短 (300 ミリ秒)



緑色スポットの持続時間 = 中 (500 ミリ秒)



緑色スポットの持続時間 = 長 (800 ミリ秒)

7 スキャンモード

スキャナーは、複数のスキャンモードのうちの1つで動作できます。

トリガー シングル：トリガーが引かれるとスキャンが開始され、以下のどれかの状態になるまで読み取り動作を続けます。

- 設定された動作時間が経過した
- ラベルが読み取られた
- トリガーが解放された
- 「最大スキャン時間」に達した

このモードは、一般的なハンドヘルド スキャナーの動作です。

トリガー ホールド マルチ：トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーが解放されるか、設定された動作時間が経過するか、または「最大スキャン時間」に達するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。「二重読み取り」防止のタイムアウト設定を使用すると、このモードで意図しない二重読み取りを防止できます。

トリガー パルス マルチ：トリガーが引かれるとスキャンが開始され、トリガーの解放後も継続されます。このスキャンは、再びトリガーが引かれるか、「最大スキャン時間」に達するか、または設定された動作時間が経過するまで継続されます。ラベルの読み取りが行われても、スキャンは無効になりません。「二重読み取り」防止のタイムアウト設定を使用すると、意図しない二重読み取りを防止できます。

フラッシング：トリガーの状態とは無関係にリーダーが点滅します。コードの読み取りは、フラッシュがオンのときのみ実行されます。「二重読み取り」防止のタイムアウト設定を使用すると、意図しない二重読み取りを防止できます。

常時オン：トリガーの状態とは無関係に照射が常時オンになっていて、リーダーでいつでもコードを読み取れる状態です。「二重読み取り」防止のタイムアウト設定を使用すると、意図しない二重読み取りを防止できます。

オブジェクト検出：このモードでは、読み取りエリア内に対象物がないかスキャンして、対象物があれば読み取りを実行します。ハンドフリーで操作するときはこのモードにする場合は、緑色スポットをオンに設定すれば、読み取りエリアの目印として利用可能です。読み取り対象物が検知されると照射用赤色 LED 光がオンになり、緑色スポットがオフになります。その後、オブジェクト通過タイムアウト時間まで読み取りを続けます。「二重読み取り」防止のタイムアウト設定を使用すると、このモードで意図しない二重読み取りを防止できます。

トリガー オブジェクト検知：このモードは、オブジェクト検出と似ています。デコーダーを有効にするには、トリガーを引く必要があります。

 **注記：**詳しくは、製品のリファレンスガイドを参照してください。

スキャンモード



スキャンモード=トリガー シングル



スキャンモード=トリガー ホールド マルチ



スキャンモード=トリガー パルス マルチ



スキャンモード=フラッシング



スキャンモード=常時オン



スキャンモード=オブジェクト検出



スキャンモード=トリガー オブジェクト検知

A 技術仕様

以下の表に、物理およびパフォーマンス特性、ユーザー環境、および規制に関する情報を示します。

項目	説明
物理特性	
色	黒
外形寸法	高さ 163 mm 長さ 91 mm 幅 41 mm
質量（ケーブルを除く）	約 150 グラム
電気特性	
電圧および電流 ¹	入力電圧：4.5 ~ 14.0 V DC 動作時（通常）：140 mA 動作時（最大）：380 mA アイドル/スタンバイ時（標準）：50 mA
パフォーマンス特性	
光源	赤色 LED
回転（傾斜）角度 ²	最大 ± 45°
傾斜角度（前後） ²	± 65°
傾斜角度（左右） ²	± 70°
照射領域	56 ± 2°
最小 PCS 値	最小 25%の反射率
¹ 通常の入力電流は、5 V の電圧で工場出荷時の初期設定を用いて測定されました。	
² ISO 15423 の仕様に基づいています。	

被写界深度（保証）¹

読み取りコード

Code 39	5 mil : 2 cm ~ 18 cm
	7.5 mil : 2 cm ~ 30 cm
	10 mil : 2 cm ~ 44 cm
	20 mil : 最大 75 cm
EAN	13 mm : 2 cm ~ 58 cm

被写界深度（保証）¹

エレメントの最少幅 最大分解能：4 mil

¹ EAN に基づく 13 mil の被写界深度。その他すべての 1D コードは Code 39 の値です。すべてのラベルはグレード A、一般的な環境光下、20° C、ラベルの傾斜角度 10° の値です。

読み取りコード

1D バーコード

UPC/EAN/JAN (A、E、13、8) ; UPC/EAN/JAN (P2/P5 を含む) ; UPC/EAN/JAN (ISBN/Bookland および ISSN を含む) ; UPC/EAN Coupons; Code 39 (Full ASCII を含む) ; Code 39 Trioptic; Code39 CIP (フランス医薬品) ; LOGMARS (Code 39 および標準的なチェックディジットが有効) ; Code 32 (イタリアの医薬コード 39) ; Code 128; Code 128 ISBT; Interleaved 2 of 5; Standard 2 of 5; Interleaved 2 of 5 CIP (HR) ; Industrial 2 of 5; IATA 2 of 5 航空貨物コード; Datalogic 2 of 5、Code 4、Code 5、Follet 2 of 5、BC412、Code 11; Codabar; Codabar (NW7) ; ABC Codabar; EAN 128; Code 93; MSI; PZN; Plessey; Anker Plessey; GS1 DataBar Omnidirectional; GS1 DataBar Limited; GS1 DataBar Expanded; GS1 DataBar Truncated; DATABAR Expanded Coupon

サポートされているインターフェース キーボードウェッジ、USB Com Std.、USB キーボード

ユーザー環境

動作時温度 0° C ~ 50° C

非動作時温度 -40 ~ 70° C

湿度 動作時：0 ~ 95%の相対湿度（結露なし）

耐落下仕様 1.5メートルの高さからコンクリート面へ18回落下後、動作可能

外光耐性 最大 120,000 ルクス

汚染物、雨、ほこり、微粒子への耐性 IEC 529-IP42

B LED およびビープ音によるインジケータ

スキャナーのビープ音および上部マルチカラー LED では、スキャナーのさまざまな機能やエラーが表されます。また、オプションの緑色スポットも有効な機能です。以下の表に、これらのインジケータの一覧を示します。ただし、スキャナーの機能はプログラム可能であり、インジケータのオン/オフを切り替えられることがあるため、表に示された動作に当てはまらない場合もあります。たとえば、電源投入のビープ音のような特定のインジケータは、プログラミングバーコードラベルを使用することで無効にできる場合があります。

インジケータ	説明	LED	ビープ音
電源投入ビープ音	スキャナーは電源投入処理中です	なし	スキャナーは、電源投入時に最高の周波数と音量で4回ビープ音を鳴らします
読み取り完了のビープ音	ラベルが正しくスキャンされました	このインジケータのLEDの動作は、「Good Read: When to Indicate (読み取り完了: インジケータのタイミング)」の機能によって設定できます (詳しくは、リファレンスガイドを参照してください)	スキャナーでは、現在の周波数、音量、単音調または複音調設定、および長さで、1回ビープ音が鳴ります
ROMの障害	スキャナーのソフトウェアまたはプログラミングにエラーがあります	点滅	スキャナーでは、最大の音量で1回のエラービープ音が鳴ります
制限されたスキャンのラベル読み取り	ホスト接続が確立されていないことを示します	なし	スキャナーでは、最高の周波数および現在の音量で6回高く鳴ります。
スキャナーがアクティブモード	スキャナーがアクティブになっていてスキャン可能な状態にあります	LEDが徐々に点灯します ¹	なし
スキャナーが無効	スキャナーがホストによって無効に設定されています	LEDが継続的に点滅します	なし
緑色スポット ¹ が一瞬点滅	ラベルの読み取りが成功すると、ソフトウェアによって設定値で指定された時間だけ緑色スポットがオンになります	なし	なし

¹ スリープモードの状態、または[Good Read LED Duration] (読み取り完了を示す緑色スポットの持続時間) が00以外の場合を除きます。

プログラミングモード: 以下のインジケータは、スキャナーがプログラミングモードになっている場合にのみ機能します。

意味	説明	LED	ビーブ音
ラベルのプログラミングモードでの入力	有効なプログラミングラベルがスキャンされました	LED が継続的に点滅します	低い周波数で 4 回ビーブ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでの拒否	ラベルが拒否されました	なし	スキャナーは、最低の周波数および現在の音量で 3 回鳴ります
ラベルのプログラミングモードでの部分的なラベルの受け入れ	1つの機能をプログラムするために複数のラベルをスキャンする必要がある場合、このインジケータによってラベルの個々の部分が正しくスキャンされたかどうかわかります	なし	スキャナーでは、最高の周波数と現在の音量で 1 回短いビーブ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのプログラミングの受け入れ	設定オプションがラベルを介して正しくプログラムされ、スキャナーではプログラミングモードが終了されました	なし	スキャナーでは、高い周波数のビーブ音が 1 回、低い周波数のビーブ音が 4 回鳴ってから、リセットのビーブ音が鳴ります
ラベルのプログラミングモードでのキャンセル項目の入力	キャンセルラベルがスキャンされました	なし	スキャナーは、低い周波数および現在の音量で 2 回鳴ります

エラーコード

スキャナーの起動時に長い音が鳴る場合は、スキャナーの自動セルフテストが正常に完了しなかったために FRU (Field Replaceable Unit) 分離モードが開始されたことを示します。スキャナーがリセットされると、一連の処理が繰り返されます。トリガーを押して解放すると、FRU インジケーションコードが示されます。

以下の表に、検出されたエラーに関連する LED の点滅およびビーブ音のコードを示します。

LED の点滅/ビーブ音の回数	エラー	修正方法
1	構成	ヘルプデスクにお問い合わせください
2	インターフェイス PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
6	デジタル PCB	ヘルプデスクにお問い合わせください
11	イメージャー	ヘルプデスクにお問い合わせください

C テクニカル サポート

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

お問い合わせになる前に

問題が解決しない場合は、テクニカル サポートも利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- HP POS コンピューターに接続されている場合、POS コンピューターのシリアル番号を準備してください
- 購入年月日および購入店名
- 製品のラベルにある交換部品番号
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン